

農 大

だより

令和7（2025）年度版

令和7年9月1日発行
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



作物専攻



CONTENTS

- 1 専攻紹介（作物）
- 2 特集
入学して思うこと（後編）
農家になって頑張っている卒業生・研修生OB
農福連携支援研修の概要
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
本校学生2名が「農業後継者育成奨学金」を授与されました
- 5 お知らせ
- 6 クラブ活動紹介（野球部・バレーボール部）
- 7 SNS投稿dialy

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

作物専攻

作物専攻は、14名(1年生6名・2年生8名)の学生が、1haの大規模水田を含む10枚のほ場、計3.3haの水田で水稻・小麦・大豆の栽培・販売実習を行っています。

水稻では「コシヒカリ」、「あいちのかおり」を始め「ミルキークイーン」などの品種を用い、化学農薬や化学肥料を使用しない栽培方法で作るなど、様々な栽培技術で大切に育てています。

大きな面積の栽培に適したスマート農業の実演も行っており、今年から田んぼの肥沃具合に応じた施肥管理ができる可変施肥田植え機を導入しました。また、PFコンバイン(水分・収量・品質を確認しながら収穫できる)も活用し、最新の農業を学ぶことができます。

最新の技術に触れながら、食糧生産の根幹を担う作物栽培を学ぶことができるのが作物専攻の魅力です。

4・5月



新学期早々、苗の準備と田植えで忙しくなりますが、遊び心を忘れず楽しく実習に取り組みます！



1ha 水田での直播栽培播種



6・7月



収穫難しい…

田植えが終わって一段落…と思いきや麦の収穫
校外学習、マーケティング研修を行います!!



8・9・10月



【水稻栽培品種】

コシヒカリ・ミルクーク
イーン・あいちのこころ・
あいちのかおり・こはるも
ち・夢吟香、もみゆたか

熟期の異なる多
彩な品種の収穫が
約2か月間続きます。
今年の新米の出来
はどうか？



11月以降



収穫後は次作に
向けた水田の準備
を行います。
ロータリー・プ
ラウ・レーザー
ベラー・ハローと
いった様々な機械
を駆使します!!



美味しい新米をどうぞ！

その他の活動

校外学習で農業総合試験場や農業法人、味噌や酒造メーカーを訪問し、水稻・小麦・大豆の栽培や加工について学んでいます。また、県外学習で他県の作物生産について学んでいます(R5:北海道、R6:福岡県、R7:千葉、茨城県)。

その他にも加工演習として、豆腐・味噌を作り、その味噌を使って五平餅を農大祭で販売しています。



県外学習で千葉県立農業大学校を訪問！



加工演習で味噌づくり！

特集

2025 新入生 農大に入学して思うこと (後編)

2025年度に入学した新入生から、各専攻一人ずつ、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。9月号は後編となります。

《新入生》

近藤隼矢	【鉢物・緑花木専攻】	…高卒認定試験合格
中川将成	【切花専攻】	…県内普通高校出身
松野慶稀	【作物専攻】	…県外農業高校出身
高橋亜衣莉	【果樹専攻】	…県内農業高校出身
三島颯斗	【露地野菜専攻】	…県内農業高校出身
石川晟	【施設野菜専攻】	…県内農業高校出身
加藤春花	【酪農専攻】	…県内農業高校出身
加藤ちえ	【養豚・養鶏専攻】	…県外農業高校出身

Q 専攻実習はどうですか？

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

座学で学んだことを実践して結果を目で確認できるのはとても良い経験。そして何より植物を育成して市場や直売で販売できるのが楽しい。

中川将成【切花専攻】

分からないことは先生達が教えてくださり、失敗しても先輩達や同じ班の子が助けてくれるので楽しく実習ができます。

松野慶稀【作物専攻】

高校の時は違うものを育てていたのだから分からないことが多く、新鮮で楽しいです。困ったときは先生や先輩、仲間に聞いてすぐ作業に移れるよう取り組んでいます。また、作業の合間に話をするのも楽しみの一つです。

高橋亜衣莉【果樹専攻】

終日実習のときもあり、大変なときも多いけれど、やりがいがあって楽しいです。

三島颯斗【露地野菜専攻】

やりたい作業を自分で選んでする方式で自由度が高くほかの授業よりも楽しく取り組んでいます。

石川晟【施設野菜専攻】

協力的な人が多い専攻のため、作業を早く終わらせられるように協力し合って頑張っている。

加藤春花【酪農専攻】

朝早くから夜遅くまで作業があり大変ですが、やりがいを感じています。また、牛に関することを色々チャレンジできて、様々な経験ができます。

加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

養豚・養鶏専攻は少人数で構成されており、先輩も同僚も仲良く連携して実習に取り組んでいます。少人数のため、担当教員の目も行き届きやすく、日常管理や進路について相談にのっていただいています。

Q 卒業後の進路をどのように考えていますか？

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

元々は就農を考えていましたが、親や身近な人からの助言でまずは就職をしようと考えています。



中川将成【切花専攻】

地元の農協に一時就職して、地元に貢献したいと考えています。



松野慶稀【作物専攻】

農作物を生産する農業法人などを就職先として考えています。



高橋亜衣莉【果樹専攻】

J Aなどの農業機関への就職を考えています。



三島颯斗【露地野菜専攻】

色々な選択肢があり迷い中です。学校生活の中で決めていけたらなと考えています。



石川晟【施設野菜専攻】

農家カフェを運営したい。



加藤春花【酪農専攻】

2年間で多くの知識と技術を学び、それを活かした就農を考えています。牛の幸せを考えたアニマルウェルフェアに配慮した酪農をしたいです。



加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

現時点では、愛知県内の農業関連企業への就職を考えています。



Q 農大に入学しようと思っている後輩にアドバイスをお願いします。

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

勉強は頑張れ！専攻実習ではやりたいことにチャレンジできるので、明確な目的を持って挑戦しよう！



中川将成【切花専攻】

農業に興味がある方はぜひ入学してほしいです。お待ちしております!!



松野慶稀【作物専攻】

農業高校出身、普通科高校問わず、農業に興味がある人はぜひオープンキャンパスで実際に見てください。



高橋亜衣莉【果樹専攻】

実習がたくさんあるので、体力は大事です。



三島颯斗【露地野菜専攻】

色々不安があると思いますが、なるようになるので気楽に入学して大丈夫だと思います。



石川晟【施設野菜専攻】

実習はかなり体力が必要なため、深夜まで友達としゃべったり、バイト等で寝不足にならないように体調管理は本当に気をつけてください。



加藤春花【酪農専攻】

酪農専攻は当番も多く大変なことも多いですが、その分やりがいがあり、現場に必要な力が自然と身につきます。牛が好きな人や興味がある人にはとても良い環境だと思います。



加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

畜産現場で実際に作業しながら経験を積み、知識や技術を高めたい方にとってもおすすめです。また、大型特殊自動車免許、毒劇物、フォークリフト等の資格取得機会が多いので、在学期間中に挑戦することで進路の幅を広げることができます。



農家になって頑張っている卒業生・研修生OB

令和元年度 露地野菜専攻

貝沼 厚希さん(夫)、千尋さん(妻) 年齢：共に25歳
就農地：愛西市、栽培品目：白ネギ40a、労働力：自家2人

就農2年目



●農業をめざしたきっかけ

自然が好きで、農業高校を卒業後、更に知識を深めようと農大に進学し、卒業後はJAに入社しました。2年間勤めましたが、どうしても自ら農業をやる夢をあきらめられず、同じく農大の同級生であった妻と共に就農する決心をしました。

●就農にあたっての苦労

地域独自の白ネギの作り方を学ぶのが大変でした。教科書に載っている作り方や他の産地のやり方とも違うので戸惑いました。

●農業のやりがい

初めて出荷した時、自分の作った白ネギが消費者の元に行くと思うと心が震え、その日は眠れませんでした。この道を選んで良かったなと感じた瞬間でした。

●就農をめざす方へ

家族と過ごす時間が増えることで精神的な満足感があります。準備はしっかりと行い、農業をやるに決断したら突き進むべきです。こちらの世界で待っています。

令和3年度 ニューファーマーズ研修

鈴木 妙子さん 年齢：43歳、就農地：西尾市
栽培品目：イチゴ高設栽培34a、労働力：自家1人、パート5人

就農3年目



●農業をめざしたきっかけ

40歳になる前に、何か新しいことにチャレンジしたいと思っていたとき、イチゴ農家の叔母が「イチゴやってみれば！女の人でもできるよ」と誘ってくれ、子供たちが「自分のことは自分でやるから、お母さんは好きなことをやっていいよ！」と言ってくれたことで就農を決心できました。

●就農にあたっての苦労

就農を思い立ったとき、まだ子供が小さくて手がかかったため、家族の理解を得るのに3年かかりました。また、建設資材などの高騰で予定以上にお金がかかってしまったことです。

●農業のやりがい

手をかけただけの成果が出ることです。しっかり葉かきや芽かきをすると綺麗なイチゴができるのですが、手抜きをするとダメなイチゴがたくさんできます。いいイチゴができて皆さんが美味しいと言ってくれると元気が出ます。

●就農をめざす方へ

周りには、先輩農家、普及課、農大、JAと、大勢の相談できる方々がいて、いろいろなアドバイスを頂きました。女性は手先が器用なので、もっと農業に進出しても良いのではと思います。

研修紹介

農福連携支援研修

この研修は、障害者就労施設の職員等が野菜栽培の基礎を学び、①施設の利用者に作業をわかりやすく伝えられるようになること、②施設の畑で野菜が栽培できるようになることを目指しています。

令和2年度に始まり、今年で6年目になりました。5月23日に開講し、翌年1月21日まで28日間行います。

研修の内容は、実習と講義、先進的に農福連携に取り組む施設の視察です。

実習では、露地野菜栽培ほ場においてキュウリ、ピーマン、ナス、スイカ、サツマイモなどの春夏野菜、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、チンゲンサイなどの秋冬野菜の栽培をします。

播種、間引き、追肥、整枝、誘引などの栽培管理から、収穫・調製、片づけまで一連の栽培体験を行います。春夏野菜は収穫を終えつつあり、今後は片付けと秋冬野菜の準備に入ります。

講義では、野菜作りに関する基礎知識(肥料、病害虫、土づくり、雑草防除)を始め、わかりやすく教える工夫、農福連携技術支援者概論など農福連携に関することも学びます。

さらに、研修生各自が施設の畑の土を農業大学校へ持ち寄り、土壌分析も行います。

研修生は、障害者就労施設の仕事をこなしながら、この長期研修を頑張っている様子を受講しています。



ラッカセイ植付



ナス整枝



耕運機実習



スイカ収穫

研修生の皆さんからの言葉 (一部抜粋)

週1回の研修なので、業務との両立が可能でした。他の研修の方々や同じ仲間、先生との横の繋がりが前へ進めると感じている。

今まで収穫後に切り戻しをすることをしなかった。利用者が収穫した後、切り戻しすることにより、より長く育てられることを知りました。

講義は難しい内容のものも多いが、座学が学べることもこの研修のメリットだと感じています。

独学だと何から勉強すれば良いのか分からないが、研修では先生が要点をわかりやすく教えてくれるので勉強になることが多かったし、よりの農業のことを身近に感じるが増えたと思います。

実際にほ場に出て実習体験に合わせて、先生の話や、聞かせていただき、大変さ、おもしろさ等々毎回わくわく楽しく学習することができています。これからも楽しみです。

野菜づくりの基礎から、農薬のこと、土づくりの大切さや野菜の病気や害虫のこと等、詳しく丁寧に実践も含め学ばせて頂き、実際に施設でどのように活かしているか、どんな野菜を作っているか等イメージしながら講座を受けさせて頂け毎回楽しみにしています。

特に実際に刈払機を使用できたことや視察では実際に農福連携されている様子もしっかり見てイメージが膨らみ実践できるといいなと感じています。

児童福祉に関わった仕事をしているが、農業にも興味を持ち始めたところだったので「農業と福祉の連携」を知り、グッドタイミングでラッキー、ナイスな流れの参加です。毎週とても楽しみです。

一緒に参加する仲間もいい方ばかりで、参加したあとも気分良く、感謝がわき起こってきます。

私にとっては、農業って楽しいな一と思えるところのよい研修です。

農業の経験に関しては、まったく初めての人もいれば既に施設で取り組んでいる人まで様々です。皆さん和気あいあいと、楽しく前向きに取り組んでいます。積極的にコミュニケーションをとって人脈づくりに励む姿も見られ、有意義な研修になっています。

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	7(0)	9(2)	6(1)	15(4)	15(3)	13(2)	17(12)	8(3)	90(27)
2年	6(0)	8(2)	8(2)	13(3)	13(4)	15(2)	9(4)	4(4)	76(21)
計	13(0)	17(4)	14(3)	28(7)	28(7)	28(4)	26(16)	12(7)	166(48)



夏休み中は1年生が一生懸命作業に取り組んでいます！

鉢物・緑花木

鉢物・緑花木専攻では夏休みになると植物の面倒をみるのは1年生の当番になります。今年のように毎日猛暑日が続く環境下では、植物も1年生も大変そうです。それでもなんとか猛暑を乗り越えてきれいな花を咲かせてくれますようにと、一生懸命毎日水やりや栽培管理をしています。



夏のうちにシクラメンなどの鉢花やパンジー・ビオラなどの花苗、コショウランやシンビジウムなどを秋～冬にたくさん出荷できるように仕込みを行いましたのでお楽しみに！



切花

バラを改植しました

バラ温室に新しい品種を導入しました。
今回導入した品種は、「イエローベイブ」

という黄色いスプレータイプのバラです。

バラは暑さに弱いため、涼しくなる時期まで枝を折り曲げて養生します。

これから秋に向けて成長する姿が楽しみです。





そして定植へ

秋冬に向けての準備として7月末頃から続いていた播種作業ですが9月に入りあと2週間程度で一区切りつくところまでできました。夏休み中は基本的に一年生だけで作業を行っていますが、播種、育苗、定植のヘビーローテーションがいつの間にか始まっていて忙しい日々を過ごしています。苗の出来が農作物の品質に直結すると言っても過言ではないので夏も終わりに向かってはいますが、最後まで気を引き締めて作業を行ってほしいです。もう冬の戦いは始まっている……。



夏場は今作の育苗期間

次作の定植に向けてトマトやミニトマト、ナスのは種や接ぎ木などの育苗管理を行っています。例年、トマトやナスは学生自身で接ぎ木を行っています。接ぎ木は少し高度な技術を要するため、学生たちはいつも以上に真剣なまなざしで丁寧に作業を行いました。

苗の質は定植後の生育にも大きく影響するので、接ぎ木が成功していることを願っています。また、8月の酷暑で人間も植物も喉カラカラなので、水やりしっかりやろうね！



水稻の収穫スタート!!

いよいよ稲の収穫シーズンが始まります。今年は例年よりも早く、8月14日に「ミルキークイーン」から収穫がスタートしました。暑さに負けず、学生たちが一生懸命に管理・作業を行っています。これから新米シーズンに向けて販売ができるように準備を進めていますので、今年も美味しい新米を楽しみにしてください。





バラエティパックが今年も大人気！

果樹専攻では、8月下旬に果物の詰め合わせ箱であるバラエティパック（ブドウ3種、ナシ、ミカン）の販売を行いました。

バラエティパックは、学生の「様々な品目の果物を食べてもらいたい」という思いから始まり、今年で5年目を迎えます。今年は県西三河総合庁舎での販売のほか、職員や農業技術研修の学生に対しても販売し、過去最高の380箱の注文に応えました。



学生には、ブドウやナシ、ミカンの調製を朝から夕方までやってもらい、注文品を揃えることができました。バラエティパックは、来年以降も継続しますので、沢山の注文をお待ちしております♪



牛群検定で牛の健康状態をチェック

酪農専攻では毎月牛群検定*を行い、1頭1頭じっくりと牛の健康状態を観察し、記録しています。牛群検定では、乳質の分析やBCS（ボディコンディションスコア）の測定をすることで、痩せすぎや太りすぎの牛、病気の牛がいないかなどをチェックし、餌の栄養設計や病気の治療、繁殖に役立てています。



連日の猛暑によって、牛も夏バテで餌を食べる量が減ってしまったり、乳房炎などの病気が起きやすくなっています。

今のところ、細霧装置などの暑熱対策や餌の調整のおかげか、大きく乳量が減ることなく、牛たちは頑張ってくれています。このまま、厳しい残暑を乗り切りたいです。

※ 牛群検定：酪農家の飼養する乳牛1頭毎の乳量、乳成分、飼養管理状況を毎月1回検定員が記録し、これらを収集、分析することで酪農家の経営改善に役立てる事業



暑さに負けないように頑張っています

豚の快適に過ごせる温度帯は体重によっても異なりますが、肥育豚では20℃前後といわれています。そのためこの夏の連日の猛暑は豚にとっては過酷な状況となっています。豚舎では換気扇の利用はもとより、鳥などの侵入を防ぐための防鳥網を設置して少しでも風を通せるように開放しています。また、管理時には直接豚に水をかけて暑熱対策に努めています。学生たちは汗だくになりながらも豚にとって少しでも快適な環境となるように頑張っています。



トピックス

本校の学生2名が「農業後継者育成奨学金」を授与されました

8月18日(月)にJAあいち中央主催の「農業後継者育成奨学金」授与式が開催され、授与者4名のうち本校から2名(1年生)が渥美純一代表理事組合長から奨学金の目録を授与されました。

将来の地域の中心的な農業者として活躍されることを期待される各奨学生は「生まれ育った地域農業の発展に貢献していきたい。」と力強く、抱負を述べました。



お知らせ

令和8年度入学者選抜試験

● 特別推薦入学試験

出願期間 9月9日(火)～9月12日(金)
 試験日 9月30日(火)
 合格発表 10月8日(水)
 試験科目 面接試験
 募集人員：20名程度

● 一般推薦入学試験

出願期間 9月30日(火)～10月15日(水)
 試験日 10月31日(金)
 合格発表 11月12日(水)
 試験科目 小論文(800字以内) 面接試験
 募集人員：定員100名のうち2/3程度

● 一般入学一次試験

出願期間 11月11日(火)～11月26日(水)
 試験日 12月9日(火)
 合格発表 12月18日(木)
 試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験
 募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。



クラブ活動紹介

農大では、授業後の余暇時間を活用して、学生主体でクラブ活動が行われています。クラブは、全部で12クラブ。今月は「野球部」と「バレーボール部」を紹介します。

野 球 部

部員数 17名
(男子15名、女子2名)
活動日時 月～金曜日 16:30～
(6月以降は不定期)
活動場所 グラウンド



こんにちは、野球部です。

毎週月曜日から金曜日まで農業大学のグラウンドにてキャッチボールやバッティングなどいろいろな練習を行っています。毎年開催される東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会で連覇できるようがんばっています。初心者の方でも経験者の方でも結構ですので、野球部に入部して青春しませんか？



バレーボール部

部員数 28名
(男子23名、女子5名)
活動日時 木・金曜日 18:00～
活動場所 体育館



こんにちは！バレーボール部です。

毎週木曜日と金曜日の週2日間活動していて、みんなで試合などをして楽しんでいます！また、5月に行われる東海近畿スポーツ大会では、他県の農大と優勝をかけたガチの勝負があるので、優勝を目指して一緒にバレーをしませんか！？

部員は未経験者ばかりなので初心者でも大歓迎です!!あなたもバレー部に入部してチームスポーツを通して学年、専攻関係なくみんなと仲を深め、楽しい農大生活を送りましょう!!



SNS 投稿 dialy

農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)
アカウント名 「aichinou dai」

通番 (投稿日) 内容

45 (7月 25 日) 大型特殊免許の技能試験



46 (7月 25 日) ハボタンの定植



47 (7月 25 日) オンシツコナジラムの大量発生



48 (7月 28 日) 岡崎城の茶会に参加

49 (7月 31 日) 豊田市の小ギク農家を視察

50 (7月 31 日) 小型車両系建設機械研修



51 (8月 1 日) ケイトウの収穫

52 (8月 1 日) ニワトリも暑さに負けず・・・



53 (8月 1 日) けん引免許(農耕車限定)研修

54 (8月 5 日) 第4回オープンキャンパス



55 (8月 5 日) 刈払機研修



56 (8月 8 日) 大型特殊免許研修

57 (8月 8 日) ミントとバジルの親株作り



58 (8月 14 日) お盆の精霊馬

59 (8月 21 日) トマトやナスの接木



60 (8月 21 日) 大型特殊免許&けん引免許
(農耕車限定)の技能試験



Follow Me !!

